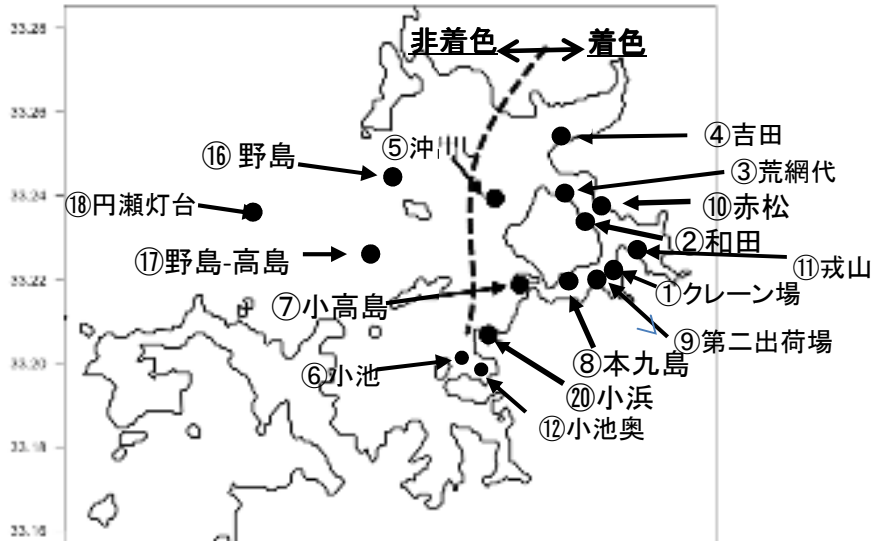


# 赤潮診断カード

受理年月日	平成30年7月4日	7:50~10:00 着色域有り。ただし、泥濁りとの区別困難
調査者	宇和島漁協	
出現状況	発生日月	発生範囲
		宇和島湾 下記のとおり
被害状況	- プランクトン検査のため持込み	
種類	地点番号	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
		クレーン場 和田 荒網代 吉田 沖出し 小池 1.6m 1m 1.2m 1.5m 0m 2.5m
	珪藻類	0 0 0 0 0 0
	カレニア・ミキモトイ	3,150 4,800 2,400 5,300 5,750 4,300
	プロロセントラム・デンタタム	0 0 0 0 0 0
種類	地点番号	⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
		小高島 本九島 第二出荷場 赤松 戎山 小池奥 2.6m 1.8m 0.5m 0.3m 0.8m 5m
	珪藻類	0 0 0 0 0 0
	カレニア・ミキモトイ	3,850 3,050 2,550 825 20,200 1,075
	プロロセントラム・デンタタム	0 0 0 0 0 0
種類	地点番号	⑬ ⑯ ⑰ ⑱ ⑳
		大福浦 野島 野島-高島間 円瀬灯台 小浜 1.8m 8m 1.7m
	珪藻類	40 0 0
	カレニア・ミキモトイ	580 160 2,600
	プロロセントラム・デンタタム	0 0 0
	単位はcells/ml	
指導状況	1ml検鏡。 カレニア・ミキモトイが危険濃度を超過して確認されています。数値が低い地区でも、高濃度の水塊が通過して被害を起こすことがあるので、魚介類の管理には注意をお願いします。 <危険濃度> カレニア・ミキモトイ 1,000cells/ml プロロセントラム・デンタタム 赤潮を形成するが、魚介類への影響は無いとされる。	



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平29情複 第1762号)  
 本紙を第三者がさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。